

聖愛

四月号
原町聖愛保育園

二〇〇八年四月一日発行

ご入園、ご進級おめでとうございます。
新しい名札をつけてもらい、照れくさそうにはかむ子どもたち。ひとつ大きくなったことを喜び、新しい環境に不安そうにしている子……。一日も早く安心して楽しく過ごせるよう、職員一同心を一つにし、保育に取り組んでまいります。

成長させてくださるのは神さま

新年度をイメージすると、保育室の新しい飾り付けや名前シールなどが整えられた中に、初めて家族と離れて不安そうに泣く子どもの顔と、その傍らで一緒に戸惑う親御さんの姿があります。継続児の親御さんは、一・二年前に自分も経験した切ない気持ちを思い返して、新米お母さんの気持ちを察するように、思いやりの眼差しで見守り、声を掛ける様子も思い浮かびます。

子どもばかりでなく親も職員も、喜びと緊張の入り混じった気持でありながらも、期待を胸に、新しい気持ちで新年度を歩み始めたことと思います。

保育園時代の年齢(乳幼児期)の子どもは、心も体も人間としての土台が出来る大事な時期です。家庭での子育てを基本に、家庭では家庭の役割、保育園では保育園の役割を互いに担い、子どもの健やかで豊かな発達を第一として、子どもに向き合っていかなければならないと考えます。

子ども達が、昨日より今日、今日より明日というように、日々成長する過程の時間を、親も保育者も共に過ごせることは、この上ない幸せなことです。また同時に、果たすべき責任がおなじく大きいということでもあります。

しかし子育ては、子どもを親や大人の思うままに育てるということではありません。子どもの成長は、両親をはじめ、家族やまわりの係わる全ての人々の願いと手を通して、神様から与えられた子どもの中の生命が育つのである。ということを理解していなければなりません。

聖書「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させて

くださったのは神です。」 コリントの信徒への手紙一 3:6

ご家庭での子育てと保育園の日々の保育が、神様によって祝福されていることを信じて、一年間の保育を進めてまいります。

園長 遠藤美保子

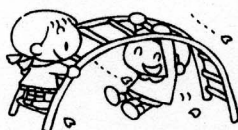
4月の保育目標 主題『であう』(年少)

暗唱聖句「見失った羊をみつけたので、一緒に喜んでください。」

『安心して』(ファミリー)

ルカによる福音書 15:6

年齢	保育目標	保育内容	保育者の配慮
てんし 0歳児	・安心してすごす。	・保育者にだっこされる ・外気浴 ・ハイハイ ・赤ちゃん体操	・家庭の雰囲気に近い環境作りと、保育者はゆったりとした気持ちで、一人ひとりの生活リズムに合わせた対応に心掛ける。 ・抱っこやおんぶなどで触れ合う時間を大切にして、安心して機嫌良く過ごせるように留意する。
つぼみ 1歳児	・保育園に慣れ、安心して過ごす。	・保育者と一緒に触れ合い体操。(ゆらゆら・ハイハイ・おうまん 他) ・まてまて追いかけて ・花や動物をみる。	・初めての場所や先生、友だちに馴染めるよう、触れ合い遊びなどを通して、信頼関係をつくる。 ・戸外では、気付きや発見と一緒に喜び、時には保育者が関心を促しながら、自分のペースで遊びを喜べるように配慮する。
はな 2歳児	・新しい環境に慣れ、安心して過ごす。	・追いかけてこ ・ままごと ・固定遊具(ジャングルジム、滑り台、ブランコ) ・砂遊び	・新しい環境に、戸惑い不安になる子どもたちの様子を把握して、安心して過ごせるように配慮する。 ・色々な所に興味を持って、行動範囲も広がるので、安全に注意しながら、好きな遊びが十分楽しめるように保育を進める。
ファミリークラス	・保育者や友だち、新しい環境に慣れ、自分から遊びを見つける。	〈室内〉 ・機織り(つき) ・にじみ絵(つき・ほし・なみ) ・イースター用切り絵作り(つき・ほし) ・ままごと遊び、ドールハウス(なみ)	・子ども一人ひとりの気持ちを受け止め、楽しさを一緒に共有しながら遊び、緊張や不安を和らげ安心して過ごせるようにする。 ・物の置き場所や使い方を丁寧に知らせる。 ・年上児との関わりを喜び、また、その事をきっかけに周りの友だちへの関心を広げられるように見守る。
	・進級したことを喜び、安心して過ごす。	〈戸外〉 ・鬼ごっこ ・うんてい ・かくれんぼ ・ドッチボール ・鉄棒(前まわり)	・保育者との信頼関係を核にして、友だちとの関わりが深められるように、保育者が友だちとの関わりの中立ちとなる。 ・環境の変化に不安を感じている子どもには、各自にあった配慮をしながら遊びへの興味や意欲を引き出せるようにする。 ・自分のこと(着脱や排泄など)が一人で出来るように促す。
	・年長児になったことを喜び、様々な事に取り組む。		・進級を喜び合い、年下児との関わりや係の仕事に進んで取り組めるように促し、また励ます。 ・今までに経験した遊びを、友だち同士で楽しめるよう遊・教具を提供し、友だちとのかかわりが満足できるような環境を整える。 ・年長児への期待が、喜びを超えて負担感を与えたりしないように、その子どもや状況に合わせて援助をする。



◎4月の予定◎

日付	園の行事	職員の予定
1(火)	保育開始	辞令交付
2(水)		職員会議
4(金)		イースター勉強会
5(土)	入園・進級をお祝いする会、総会	
8(火)	イースター礼拝(つき、ほし)	聖書研究「めぐみの会」
9(水)	交通安全教室(つき、ほし) 子育てサークル(ブーさんG)	企画会議
10(木)	小人さんの音楽会	構造化会議
16(水)	子育てサークル(レイン-G)	マネージャー会議
17(木)	ポップコーン(クラブ活動)	
18(金)	久米本先生指導	
21(月)	しゃりん梅訪問(ほし)	
22(火)	避難訓練	聖書研究「タウトの会」
23(水)	子育てサークル(ブーさんG)	給食会議
24(木)	小人さんの音楽会 久米本先生指導	園内研修
25(金)	食育「キッズの話」	
26(土)	異年齢児交流事業(つき・小1) 「小学校の話をお聴く」	
28(月)	お弁当の日	
30(水)	しゃりん梅訪問(ほし) 子育てサークル(レイン-G)	

『入園・進級をお祝いする会』

日時：2008年4月5日(土) 午前9時より
場所：原町聖愛保育園ホール
対象：全園児・全保護者

— お祝い会終了後 対象：全保護者 —

- ・講演会「子どもの救急について」
講師：笹原 賢司氏(医学博士/相双保健所所長)
- ・2008年度 原町聖愛保育園保護者会総会
(総会が終わりましたら、全園児降園となります。)

保育園だより「聖愛」

毎月1日に発行。月の園の予定や行事の内容、保育の現場から、各クラスの保育目標などが記載してあります。必ず目を通してください。

給食だより

毎月末に、次月の献立表を発行。栄養士からの食事に関するアドバイスや、食育の様子等もお知らせします。見やすい所に貼るなどして参考にしてください。



- お弁当について・・・毎月第4月曜日
ご家庭での手作りの弁当(米飯食)を持たせて下さい。
※行事等により、日にちが変更になることもあります。

クラスだより

毎月10日に発行。保育のねらいや、生活や遊びの様子、子どもの姿やつぶやき、誕生児の紹介などを載せたお便りです。準備物や時間に関する事などもお知らせしますのでよくご覧ください。

掲示板について

玄関や正門前の掲示板には随時、クラスの窓から、行事のポスター、保育の様子などを掲示します。園庭内東側・各保育室前には、行事やクラスの様子のスナップ写真等を掲示しますので送迎の際にご覧ください。

貸し出し図書について



毎週金曜日に、一人3冊まで借りることができます。返却日は翌週火曜日です。事務室前に絵本返却箱を準備しておきますので、バックに入れたままお返しください。
年間6回発行の「えほんだより」もお楽しみに..

『みんな愛されている』

原町聖愛保育園の保育理念『みんな愛されている』は、
「私たち人間は、神さまによって生命を与えられ、唯一無二の存在として、豊かに守られ愛されている」
「みんな尊くかけがえのない存在である」
ということです。私たち一人ひとは神さまによってつくられ、必要とされています。幼い時から、自分が自分であることを喜び、自分を信じていることが出来る心が育つよう、一人ひとりの発達への援助を行っていきます。
聖書のなかに、‘私たちの身体のなかで同じ働きをする部分はない。それぞれが大切な働きをしている’、というお話があります。
大きな機械も、小さなネジが一つ足りないだけで、その機械が動かなくなったり事故につながったりします。大人も子どももそれぞれが大事な役割を担い、そしてかけがえのない存在なのです。

2008年度 保育のテーマ【海と空】

原町聖愛保育園では、毎年年度のテーマを決めて保育を行っています。森、川、海、...すべての自然を神さまが創られました。昨年度は「川と海」をテーマに、一年を通して川や海に出掛け、遊んだり季節ごとの自然を感じたりしてきました。また、運動会では人間の出すゴミによって、自然に住む生き物たちが苦しんでいることを伝え、その後のエコ活動に親子で参加するなど、保護者の方の意識も高まってきていることを感じる事が出来ました。
今年度は、川と海に続き「海と空」をテーマに保育を進めます。
すべての自然が繋がっていることを保育を通して知らせながら、自然への関心と意識を高め、何よりも素晴らしい自然からの喜びや驚き、不思議などをたくさん感じ取って欲しいと願っています。

2008年度 原町聖愛保育園職員紹介

- ・理事長 村川 正勝
- ・園長 遠藤 美保子
- ・事務長 鈴木 マサ子
- ・主任保育士 高田 公恵
(ファミリークラス)
- ・てんし組 大槻 麻喜
- ・光組(なみ/3歳児) 三浦 美幸
- 上田 恵子 (つき/5歳児) 堀川 桂子
- ・つぼみ組 渡邊 麻由
- ・水組(つき/5歳児) 山内 元子
- 鈴木 幸代 (ほし/4歳児) 木幡真佐子
- ・はな組 荒 一実
- (ほし/4歳児) 高野 久代
- 笹原 廣美
- ・風組(ほし/4歳児) 青田みゆき
- 善里 里織 (なみ/3歳児) 遠藤 裕一
- 鎌田かおり (つき/5歳児) 高野由紀子
- ・栄養士 嶋原久美子
- ・調理員 成田千代美 渡部 典子 萬 和代(離乳食担当)
- ・延長保育 遠藤 裕一 高橋 秀子 佐藤 静江

～一年間よろしく願いいたします～



〈イースター礼拝〉 4月8日(火)

イースターとはキリスト教3大祭の1つであり、十字架にかけられたイエス様が3日後によみがえられたことを祝うお祭りです。

イースターは年によって日にちが違いますが、今年は3月23日(日)でした。保育園では4月8日にイースターをお祝いします。4・5歳児は教会でイースター礼拝を守り、その後ファミリークラスの子どもたちはエッグハンティングをします。(卵は昔から新しい命の甦りを表すものとして用いられてきました。)
年少クラスでも、イースターのお話や装飾などを通してイエス様の復活を喜び合います。

送迎時の注意について

保育園正門前と教会側門前は、緊急車両の出入り通路ですので、駐車しないようにご協力をお願いいたします。
なお、安全・盗難防止・環境保護の為にもエンジンを切り、鍵をかけてください。園の付近の道路が住宅に面していますので、順路に沿って通行して下さい。譲り合って事故などの無いようご注意ください。